

教育委員会点検・評価報告書
(平成28年度)

平成29年8月

勝山市教育委員会

1 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が平成19年6月に改正され、平成20年4月1日から施行されました。

これを受け、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆さんへの説明責任を果たしていくために行うものです。

なお、具体的な点検及び評価項目や報告書の様式、議会への報告、公表の方法などについては、国が基準を定めるのではなく、各教育委員会が実情を踏まえて行うこととされています。

2 点検・評価の方法及び経緯

(1) 平成28年6月定例会教育委員会（6月2日開催）

対象項目を協議するとともに、点検・評価表の素案について協議しました。点検・評価の対象項目を下記3のとおり決定するとともに、点検・評価の方法及び評価例を下記4、5のとおり決定しました。

(2) 平成28年11月定例会教育委員会（11月3日開催）

点検・評価の中間取組状況、中間時点の課題等について、教育委員会ヒアリングを開催しました。

(3) 平成29年5月定例会教育委員会（5月11日開催）

点検・評価の取組結果、成果、問題点、評点について、教育委員会ヒアリングを開催しました。

(4) 平成29年6月定例会教育委員会（6月1日開催）

点検・評価の取組結果、成果、問題点、評点について、教育委員会ヒアリングを開催しました。

(5) 平成29年7月定例会教育委員会（7月6日開催）

点検・評価の取組結果、成果、問題点、評点について、教育委員会ヒアリングを開催しました。

3 対象項目

(1) 平成28年度勝山市全体の政策（基本目標管理）評価のうち教育委員会関係

(2) 平成28年4月定例会教育委員会協議事項の「各課の重要課題と取組方針」

※（2）が（1）に包含される場合は（1）の項目で、包含されない場合は適当な項目を付し対象項目としました。その結果、17項目が評価の対象となりました。

4 方法

- (1) 対象項目ごとに点検・評価表の作成とともに、まず担当課による自己点検・自己評価を求めました。次に、教育部内の横断的な観点も含め教育委員会部局課長による相互点検・評価を求めました。
- (2) 上記(1)を参考資料として教育委員会ヒアリングを実施し、教育委員会(委員5名の合議体)による最終の点検・評価を行いました。

5 評価例

取組目標に対する達成状況を基準にして評価対象の難易度を勘案し、最終的に教育委員会が次の基準(5～1)に沿って行いました。また、特に評価の過程で点検・論議された課題等について、必要に応じて記載しました。

5	十分な成果があった
4	かなりの成果があった
3	最低限の成果はあった
2	あまり成果がなかった
1	まったく成果がなかった

6 点検・評価にあたって

評点は、難易度を斟酌して付しています。また、課題等は、次年度の目標設定におけるフィードバックを念頭に置き、論議した事項を記載しました。

以上の点検・評価の結果は、各評価対象項目における主な取組内容、評点及び課題等にして一覧表にとりまとめました。

7 おわりに

この制度は、教育委員会が自らの仕事の点検・評価を行い、住民の代表である議会に報告することで、説明責任を果たそうとするものです。法改正に伴い取り組んでいます、どの作業も試行錯誤の中で行っており、今後、市議会をはじめ市民の皆様方のご意見を参考に、点検・評価の方法や時期等について見直しを重ねる中で、この制度をより良いものにしていきたいと考えています。

また、今回の報告にあわせて教育委員会の構成と教育委員の任期並びに教育委員会の開催回数と内容等についても、添付させていただきました。

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
1	教育環境の整備・充実1 1. 中学校再編方針への対応 ①検討委員会設置までの間は、学校に内在する課題として「免許外教員担当教科の状況や部活動選択肢の減少など」への対応を図っている。 ②各校の経年データの収集・分析を行い、議会やPTAへ報告した。 ③学校統合に係る事業予定額の算定分析を進めている。 ④各地区市長と語る会において、平成25年に出した方針の中学校生徒数の見込みは平成37年度までであったが平成40年度まで示すことができた。 2. 小学校再編のあり方の検討 ・細野分校について、細野4区長及び地元市議に説明を行った。施設の利活用に必要な進上路の費用を含めて提案を行い、4区の初寄合に再度諮ったところ利用はしない回答を得た。荒土地区区長会に諮ったが利活用したい意見はなかった。その後、地元市議より民間の活用を検討するよう意見がある。 ・大矢谷冬期分校について、説明会を行い、廃校とすることで承諾を得た。区から無償譲渡の受入れがあったので、修繕の要望を取りまとめ予算要求をした。 3. 幼稚園のあり方の検討 ・幼稚園父母の会と語る会で、園の存続の要望があった。各幼稚園では、園児を一定数確保したいと考えているが、幼稚園を望む方が少なくなっている現状もあることを伝えた。この現状と今後の見通しをふまえ、勝山市立幼稚園のあり方検討懇話会を開催する要綱を定め、準備を進めた。教育委員会と健康福祉部の連携のもとで、検討懇話会の意見をいただき、幼稚園の適切なあり方を検討していくこととなった。 4. 学校給食のあり方の検討 ・学校給食の集約化(平泉寺小、三室小の給食を成器西小から、野向小の給食を荒土小から配食する)の事業費分析を行った結果、調理師の人員は1名のみの減であり、給食の搬入・搬出の整備に約42,000千円かかる見込みである。現在のところ、集約による費用対効果がそれほどえられないので、今後は、再編とも合わせ、より、合理化を図ることを検討していく。	3	◎学校再編 ・平成29年度には、中学校再編検討委員会へ向けた準備作業をしっかりと進める必要がある。 ・細野分校は解体の方向で関係者と調整していく。 ◎幼稚園 ・幼稚園については、検討懇話会で十分意見をいただき、適切なあり方を見極めていく。

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
2	教育環境の整備・充実2 1. 学校耐震化非構造部材補修 ①避難施設となる全小中学校の屋内体育館の非構造部材補修工事の実施 ・小学校については工事中(H29.5.19終了予定) 9校屋内運動場11棟(成器南小学校は第1・第2 村岡小学校は第1・第2) ・中学校については工事終了 ア勝山中部中学校 屋内運動場(第1)(第2) イ勝山北部中学校 屋内運動場 ウ勝山南部中学校 屋内運動場(第1)(第2) 2. 学校改修工事等 ①耐震化事業終了後の学校施設の計画的な修繕計画を策定する ・村岡小学校給食室の空調設備工事中(H29.4.14終了予定) ・3中学校 校舎・屋内運動場トイレ洋式化工事(H29.8.31終了予定) ・「学校施設環境改善交付金」の追加内示により 野向小学校給食室・ランチルーム 荒土小学校給食室・ランチルーム 鹿谷小学校給食室・校長室・職員室 北郷小学校給食室・会議室 北郷小学校体育館トイレ洋式化工事(H29.8.31終了予定) } 空調設備工事 (H29.8.31終了予定) 3. 学校PCの整備と情報漏えい対策の実施 ・LG系、インターネット系の分離と必要機器の整備 (マイナンバーを始めとする住民情報の流出を防止するため、情報セキュリティの抜本的強化を図る) ・校務用PC老朽化による新規リースへの対応 校務用パソコン(H22.2購入)に不具合が生じてきたため、リースで新規に入れ替えた。(176台) ・タブレット型PC利活用の整備 タブレット型PCのH28予算がつかなかったのでH29に向けて予算計上した。 4. 勝山市公共施設用地地代調査委員会の基本方針に基づいて契約更新の実施 ・契約の確認も含めて、地代の均衡を図りたいため、勝山中部中学校の敷地貸主に、説明会を3回開催し、個別に3回あった。一部のかたから承諾を得られていない。	4	・各学校の地代の均衡を図るために、貸主の理解を求めているところであるが、一部のかたから承諾を得られないため、引き続き交渉を行っていく必要がある。

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
3	心豊かでたくましい児童・生徒を育てる学校教育の充実 1. 楽しく分かる授業」の推進と、支援を要する児童生徒に対する個に応じた丁寧な教育の充実 ①後期期学校訪問（10/11～11/22）における授業研究の推進 ②全小中学校に国語・算数数学・理科・社会・外国語活動、英語のデジタル教科書や教材を配置し、活用。 ③全授業日におけるICT機器等を活用した日数の割合について、サンプル調査を行い、意識付け。 （計算式：ICT活用日数÷全授業日数×100 各教員について算出した平均値→成器南小75%、村岡小84%、鹿谷小95%、勝山中部中69%） ④学期ごとに学校生活アンケートを実施し、教務主任会で分析、授業改善に活用。 「授業は分かりやすい」→小5:1.17ポイント、中2:1.01ポイント （よく分かる+2、だいたい分かる+1、あまり分からない-1、分からない-2として算出） ⑤市費による支援人の配置と活用の推進。（特別支援教育支援員9名 少人数指導支援員5名 小学校生活支援員2名 個別教育支援員2名 登校支援員3名 外国語活動支援員2名） ⑥全国学力・学習状況調査およびSASA結果による学力向上研修会の実施。 （2/23） 2. ユネスコスクールとして、環境教育、ESD（持続発展可能教育）の推進および小中高の連携を重視した先進的な英語教育の取組 ①ユネスコスクールとして、各校の地域環境や特色に合わせたESDプログラムを開発、継承、実践。 →勝山中部中学校がESDで「環境美化教育優良校表彰」を受賞。 ②ユネスコスクール全国大会に、各校から教員1名が参加。（12/3 金沢大学） ③全小中学校で、大学教授・県教委の指導を受けながら英語授業案の事前検討会を実施。 ④英語公開授業の実施。（村岡小10/13、荒土小10/21、勝山南部中10/25、三室小10/27、北郷小10/31、平泉寺小11/10、鹿谷小11/17、成器西小11/21、野向小11/22、成器南小11/24、勝山北部中12/1、勝山中部中1/30） ⑤中学校英語授業公開（上記）や勝山高校英語授業公開（11/10）に中・高双方の教諭が参加。 ⑥全国英語研修会（平成28年度小学校における外国語教育指導者養成研修）での授業公開。（2/22 成器南小、成器西小、村岡小、三室小、鹿谷小、北郷小） 3. 健全な人間性、人の痛みを理解し人を思いやる心情の涵養 ①基本的な生活習慣確立に向けて各校ブログ、学校だより、学年学級だより、保	4	・平成30年からの県内全小学校における外国語活動、英語科授業に対応するだけでなく、先進的でレベルの高い英語教育を維持していくための環境整備。

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
	護者会等を通じた家庭、地域への啓蒙活動の推進。 ②「くらしの礼儀作法」「かつやまっ子応援プラン・6つのルール」を学校生活の中で活用・実践するよう、後期学校訪問時に各校へ指導。 ③学校いじめ防止基本方針に基づいた学校でのいじめ等の発見・対応の状況を、毎月市教委にて集計、必要に応じて指導の実施。（各校におけるいじめ未然防止のための情報交換会議：12校で年間955回） ④全小中学校における道徳授業の公開。（授業参観日等） ⑤学校訪問時における道徳の授業公開、研究会等の実施。 （荒土小11/2、勝山南部中11/4、成器西小11/11、勝山中部中11/14、勝山北部中、11/15、鹿谷小11/17、北郷小12/7） ⑥ボランティア活動の推進。ボランティア手帳である「ESDパスポート」の活用。（勝山南部中、村岡小） 4. 体験活動を通じたたくましさ、好奇心、チャレンジする心情の醸成 ①地域における宿泊体験学習の実施。 （鹿谷小わくわく合宿通学9/14～9/17 北郷小わくわく合宿通学10/5～10/8） ②地域に根付いた体験活動の実施。（平泉寺小：池ヶ原湿原の保全活動 成器西小、成器南小：左義長の伝承 野向小：北谷での環境環境保全 野向小：雅楽の伝承 勝山北部中：まちづくりプロジェクトの推進 等） ③県の助成を受けた「地域と進める体験活動」の推進。（成器西小、勝山北部中） 5. 勝山の歴史・文化・産業・自然環境の学習を通じた、ふるさとへの誇りと愛着心の醸成 ①全小中学校が環境教育・ふるさと教育を柱としてESDを推進。 ②地元企業、関係機関と連携した「地域に学ぶ14歳の挑戦」の実施。（10/12～10/14） ③ジオパーク・まちづくり課の支援を受けたジオパーク体験学習の推進。 （まち探検、ゆめおーれ勝山等の活用、勝山の地質学習、火山出前授業等） 6. 調和のとれた体位・体力の向上と、心と体の健康増進 ①体育授業の積極的な公開と授業力向上、スポーツ大好きふくいっ子事業による実技指導者派遣、スポーツ体験教室の実施。 ②小学校における行間体育や中学校部活動等も含めた持久力向上への取組推進。 ③食育の推進。 （総合的な学習の時間、保健体育授業および給食への栄養教諭等巡回時に指導） ④部活動での外部指導者活用の推進。（全中学校） 7. 情報モラル教育、情報リテラシー教育の推進 ①全小中学校で各校スマートルールを活用した指導の実施。		

No.	評価対象項目 主な取組内容	評点	課題等
	全小中学校で学校だより等を通じた各家庭への周知、協力依頼。 ②保護者との連携強化および保護者会等での情報モラル等に関する研修会・講演会・説明等の実施。（全小中学校） ③福井県県民安全課から発行される情報モラルやネット犯罪等に関するおたよりの活用推進。（全小中学校） ④福井地方法務局と連携した生徒・保護者対象の情報モラル出前授業の実施。（勝山北部中） 8. 「福井型18年教育」に基づく保・幼・小・中・高の交流・連携・接続の推進と、より効果的な教育の実現および不登校の未然防止 ①保育所・認定こども園・幼稚園・小学校が連携し、連絡協議会や交流活動を実施。（幼保小接続会議2/2） ②中学校・高等学校連絡協議会を通じた連携の推進。（11/15、1/25） ③後期学校訪問および英語授業公開時（10/11～11/22）に小・中・高等学校教諭が互いに授業を参観、研究会にて意見交流。 ④学力向上研修会にて小中の意見交流と連携推進。（2/23） ⑤不登校の未然防止に向けた気がかり児童生徒の情報共有と、さわやか教室との連携。 ⑥小・中のスムーズな接続に向けた中学校説明会や中学校体験入学の実施。（2月） 9. 児童生徒が誇りに思う開かれた特色ある学校づくりの推進 ①地域諸行事への参加・参画の推進。（中学校における地域行事参加率 体育的行事：77% 文化的行事：83% 奉仕的行事等：80% 学年末アンケート） ②全小中学校で家庭・地域・学校協議会を設置し、年間3回程度実施。（委嘱委員総数110名） ③学校教育の自己点検・自己評価。（小中学校ごと各学期末に実施） ④外部人材の有効活用。 （出前授業やゲストティーチャーなど外部人材の活用回数12校で後期183回） ⑤防災避難訓練の実施（村岡小1/17、勝山南部中10/4） 不審者避難訓練の実施（成器南小11/7、村岡小11/29、野向小11/8） 児童生徒受け渡し訓練の実施（平泉寺小11/29、村岡小11/15、鹿谷小11/1）		

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
4	「生きる力」を育む市民活動の展開 1. 青少年健全育成計画「かつやまっ子応援プラン」に基づく事業の推進 ①青少年健全育成推進事業の推進 ・各地区かつやまっ子応援ネットワークの活動に対する補助金申請 計13件 ・各種団体の青少年育成活動に対する補助金申請 計15件 (H27 18件) ・10月1日 2回目の「親子で科学実験教室」(講師月僧秀弥先生)を市民総合大学と共催で実施 親子22名参加 ・広報紙「かつやまっ子応援ニュース」年2回発行 ・3月4日「かつやまっ子応援ネットワーク」全体会 「家族からもらったいい言葉」の最優秀・優秀作品の表彰 H28年度事業報告(かつやまっ子応援ネットワーク、各種団体 計6件) 事務局から福井県青少年育成推進指導員の役割や他市の取組等を紹介 ②新たな視点での取組みに繋がる研修会等の開催 ・11月16日 奥越ブロック合同研修会 ノーム自然環境教育事務所代表坂本均氏を講師に招き「自然とのかかわり今昔」と題し講演会を開催、講演後、勝山市・大野市の委員が少人数の班に分かれ意見交換を行った。 2. 子ども達が豊かな自然や生活文化に触れることができる体験学習の実施 ①小浜市と勝山市の子ども交流会 ・2月18日～19日 7月に小浜市で交流した小浜・勝山両市の児童が、スキージャム勝山でスキー体験をしたほか、長尾山恐竜の森でソリや雪合戦等の雪遊びを通して交流を深めた。 ②百人一首(かるた)練習会の支援 ・12月4日 第47回子ども会対抗親善かるた大会 19チーム 58名参加 年間を通じて、勝山市かるた愛好会から指導を受けた。	4	・各種団体の補助金申請について毎年同様の内容で申請する団体があるため、補助金の交付方法を検討する必要がある。

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
5	学習機会と施設の充実 1. 公民館の職員体制見直しについて ・各地区及び市議会へ嘱託化の実施方法及び順番等を説明し、H29年度から順次嘱託主事を配置していく方針を決定した。 ・12月市広報に嘱託化の経緯、方法、スケジュール等を掲載し市民に周知した。 ・「勝山市立公民館の嘱託職員の雇用に関する内規」を定め、従来の内規を改めた。 ・1月12日～2月6日嘱託主事3名（猪野瀬・勝山・荒土）を公募。募集要項を市広報・ホームページ、ハローワーク求人案内、各地区公民館だよりに掲載。 - 退職および更新の対象となる嘱託館長5名も同時に募集した。 ・2月18日選考審査会（面接）を行い嘱託主事3名及び嘱託館長5名を内定。 ・議会へ応募状況等を報告 2. 北谷コミュニティセンターにおける北谷公民館機能移転について ・11月1日、「NP0法人きただに村」からの指定申請書受理、内部審査後、定例教育委員会において同法人を指定管理者の候補者として選定することを承認した。 ・12月議会に北谷公民館の指定管理者の指定について議案を提出し議決された。 ・12月26日に「勝山市立北谷公民館の管理及び運営に関する基本協定書」を勝山市教育委員会とNP0法人きただに村で締結。 - H29年1月1日～3月31日を指定管理期間とし、公民館業務をNP0法人きただに村に委託した。北谷公民館嘱託館長及び嘱託主事はNP0法人の職員となり勤務継続。 ・並行してH29～H30年度の指定管理について、北谷町コミュニティセンターと北谷公民館を一本化して協定する方向で関係課及びNP0法人と協議。 ・1月27日NP0法人きただに村からの指定申請書（H29～H30年度）受理、内部審査後、2月23日に定例教育委員会において同法人を指定管理者の候補者（公民館部分に対し）として選定することを承認。 ・3月議会に北谷町コミュニティセンター及び北谷公民館の指定管理者の指定について議案を提出し議決された。 ・3月28日 「勝山市立北谷町コミュニティセンター」、「勝山市立北谷公民館」の管理に関する基本協定書（H29～H30年度）を勝山市長、勝山市教育委員会及びNP0法人きただに村の3者で締結。 3. 生涯学習の機会提供と学習内容の充実 ①勝山市民総合大学 前期：講座数53、のべ220回、のべ3,505人参加 後期：講座数40、のべ191回、のべ2,433人参加 ②勝山市生涯学習人材バンク	5	・公民館主事の嘱託化については、正職員主事から嘱託主事への公民館事務の引継ぎを徹底し、本課職員も事務全般について指導していく。 ・北谷公民館の指定管理については、引き続き「NP0法人きただに村」の運営状況を注視し、公民館業務が軌道に乗り安定して実施していけるよう支援していく必要がある。

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
	利用申請件数 23件 (18団体利用) バンク登録者数 45名 ③さわやか大学 ふるさと学科：80名受講 19回実施 生きがいと健康づくり学科：84名受講 19回実施 オープンカレッジ (全体学習、一般公開)：11回実施 4. 各種団体への活動支援について 今期成人式実行委員会のメンバーと市長との語る会を開催し、若者の視点から市政についての意見交換を行う。今後、同委員会のメンバーがグループを結成し、若者の交流事業を企画実施することとなった。 5. 市民会館の施設改修について 市民会館の地下室にある受電設備を更新し設備を地上に配置するとともに、市庁舎、市民会館、教育会館をつなぐケーブルの敷設替え工事を行う内容で予算化することができた。		
6	文化活動の充実 1. 郷土芸能施設の整備、充実 ・左義長櫓会館の修繕にかかる補助申請1件 2. 勝山市文化協会への支援 ①9月～3月に会員による定期発表会をゆめおーれ勝山等で年5回開催 (入場料無料) 参加団体の募集、PR、会場調整などで支援した。発表する場を設けることにより、会員の意欲を喚起させる一助となった。 ②若手音楽家の発表会は開催できなかったが、全国大会入賞者を広報等で紹介するなど若手音楽家の活躍を周知した。 H28年5月28日開催の新体育館落成式のアトラクションで披露するコーラスの企画や合唱団員募集、練習等について支援した。老若男女を問わず約100名の参加申込みあり。 3. 勝山市民総合文化祭の充実 ①10/31～11/1第51回勝山市民総合文化祭を開催、新規の取組みとして秋の歌とピアノ、ハープ等の演奏によるコンサートを開催した。昨年まで式典のみであったが、引き続きコンサートを開催したことにより集客に繋げることができ好評を得た。芸能・展示に77団体参加。勝山高校芸術部及び奥越明成高校美術部からの出品あり。 11/19「かつやま寄席」を開催し、多くの市民に落語の文化に親しむ機会を提供した。(670名参加)	4	・文化協会の中には、会員の減少と高齢化により存続が危ぶまれる団体もある。 ・市民総合文化祭について、他市町の状況も研究し新しい視点での取組を検討したい。

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
7	図書館機能の充実 1. 子ども読書活動推進計画関連事業の推進 ①ブックスタート事業について ・対象者に通知だけでなく電話や窓口、行事での呼びかけを徹底した。定例の実施日（毎月第3木曜日）以外の土日祝日にも臨時に対応し、読み聞かせ等の指導を行った。また、受講後は2歳児までの読み聞かせの会（赤ちゃんといえほんの日）の参加にも繋げた。H27年10月～H29年3月末までの受講者数：82組 H28年度実施回数：17回 ②学校図書館への支援 ・第1期事業（バーコード貼付及び図書情報のデータ化）の作業は、南部中校区（勝山南部中、成器南小、平泉寺小、三室小）及び中部中校区（勝山中部中、成器西小、野向小）においてH27年度末で終了。H28年度は、南部中校区において次の段階の第2期事業（背ラベルの張り替えや図書の配置換え）を全て終了した。 ・第1期事業と第2期事業は図書室電算化のための準備であり、パソコンが導入され次第、図書の貸出や返却をパソコンで管理する。 ・学校図書部会と協議し、H29年度開催の学校図書館大会の計画を支援した。 2. 施設の整備充実 ・図書館情報システムの更新に伴い、クラウドシステム方式を導入しH29年2月22日から本稼働した。導入時期については、利用者の利便性を考慮し比較的用户数が少ない2月にシステムの入替作業を行った。 契約先：三谷コンピュータ(株) 契約期間：H29年3月1日～H34年2月28日（5年） 新システム導入により、図書館で借りた本の個人の履歴を保存・管理できる機能を取り入れた。 ・冬期間の図書館の開館時間は、通常より30分遅らせ10時からとしているが、市民からの要望に応え、9時30分から入館可能とし図書の貸出や返却のみ対応できるようにした。 3. 市民ニーズに対応した図書の充実と図書館ネットワークの推進 ①季節の年中行事や生活、健康、文化芸術等を取り上げた企画展を実施。25回実施 ②白山信仰・平泉寺関係等関連図書を収集し充実を図った。H29.3月末実績（寄贈・購入）白山信仰・平泉寺15冊 恐竜関係54冊（H27 28冊） ③図書館相互貸借ネットワークの利用借受1,488冊（H27 1,517冊） 貸出179冊（H27 187冊） 4. 公民館との連携 ・公民館の団体貸出による図書利用 H29.3月末実績 8館 71回 1,451冊（H27 1,585冊）	4	・公民館に対し、図書情報や企画コーナーの提案をするなど団体貸出の利用増に繋げたい。

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
8	白山平泉寺歴史探遊館まほろばの誘客増および継続的な白山平泉寺旧境内の整備 1. まほろば来館者年間4万人達成へ向けた誘客増（実際28,789人） ①多数の来館が見込まれる連休などには僧兵姿で窓口受付実施 ②館内で行われるイベントに僧兵姿でアピールを実施 ③福井県立こども歴史文化館との共催企画となる「歴史イラストレーションの世界」や勝山城跡発掘調査の速報展を開催 2. 白山平泉寺旧境内の整備 ①まほろばDAYに、平泉寺区によるコンサートやライトアップ、オープンマーケット実施 ②火災報知器及び盗難防止対策は電源がないため、新たな方法を検討中 ③11月20日にパッケージ型消火器を利用した消防訓練を実施	4	・平泉寺拝殿や本殿の火災報知器設置や盗難防止対策（白山神社側が漏電を心配して電源を引くことに反対。また、社務所から拝殿まで約300mの距離があり、電波が届かない状況）
9	世界遺産登録の推進 1. 朝倉氏遺跡資料館との連携事業の取組み ・朝倉氏遺跡と連携した「戦国歴旅越前若狭巡回展&リレー展」（第7回：1月31日～3月14日 会場：まほろば）及び戦国歴旅フォーラム（3月12日 会場：教育会館）を開催。また、「時空を越えた都市に出会う旅～中世・戦国の巨大都市物語 越前・福井～」をテーマに日本遺産申請を行った。 2. 民間団体による世界遺産登録への意識向上 ①企業会員の導入は検討のまま来年度持ち越し 3. 平泉寺と白山開山1300年事業に向けた準備 ①県内外関係11市町が白山1300年記念パネル展を実施することで合意。また、白山平泉寺1300年記念PR事業実行委員会（9月29日、12月27日開催）に参画	4	・区民を巻き込んだ平泉寺の保存活用

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
10	歴史遺産の保護、保存、活用の推進 1. 平泉寺総合整備事業並びにその他発掘事業で出土した多量の遺物整理 ①分類、接合、図面作成、台帳データ整備と順調に遂行 2. 県指定文化財三室遺跡の保存、活用の推進 ①見学者用トイレの実施設計完了 ②縄文遺跡等資料室（遅羽公民館2階）」閲覧者数279人 ③縄文遺跡等資料室の展示内容にジオパーク情報を追加 3. 勝山の歴史人物の紹介 ①『ものがたり かつやまの歴史（下）』を発行 4. 開善寺本堂と小笠原家累代廟所の一体的保存活用 ①開善寺本堂の持続可能な活用の為の有効な手段を探り出せなかった 5. 旧中尾発電所第1号発電機の適切な保存管理 ①保存小屋の草刈（8月16日）、通気（9月7日）、除雪（1月26日・2月15日）の管理を実施	3	・三室史跡公園トイレ建設についての地権者・地元区・住民協会の意見調整 ・開善寺本堂の持続可能な活用の為の手法の検討 ・縄文遺跡等資料室（遅羽公民館2階）」閲覧者の増加対策
11	国重要文化財旧木下家住宅の修繕と管理、活用 1. 平成28年度国庫補助事業の活用による修理事業 ①旧木下家住宅仮設・分解工事及び耐震診断並びに地盤調査終了。その結果を踏まえ、文化庁と協議して耐震方針及び復元方針を決定。 ②12月より、JVによる地元業者参入により、組立工事着手 ③技術講習会（5月22日市内建築関係の業者等、7月12日小松工業高校、7月15日敦賀工業・武生工業高校）実施。また、一般見学会を8月6、7日実施。 ④揚屋作業の見学会を3月7日（報道関係内覧）3月18日（一般見学）実施	4	・「（仮称）旧木下家住宅活用保存会」の立ち上げ ・防火設備及び便益施設の関係機関調整と予算化
12	勝山城博物館との連携強化 1. 勝山城博物館との連携事業の充実 ①開催期間中の入館者数3,584人（昨年比1,173名減） ②7月から共催展をスタートし、9月末をもって終了 ③小中学生向け解説版を設けクイズ形式の設問で見所に関心を集める工夫をした。 2. 勝山城博物館の博物館機能（保庫、燻蒸庫）の活用 ①共催展の展示物（絵図や史料等）や民具の燻蒸	4	・来館者増のためのPRの工夫や展示会の開期見直し ・魅力あるテーマづくりと今後の連携のあり方検討

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
13	ジオサイト等の遺産の保全、保護および整備、活用 1. 恐竜溪谷100万人（恐竜キッズランド）構想関連事業の推進 ・境界確認のできていない隣接地の簡易GPS測量を実施し、面積を調査。 ただし、森林組合による簡易的なGPS測量であり、地権者の立ち会いの伴わないものでもあるため、参考資料としての取り扱い。 測量業者による境界測量は高額な費用を要する。 ・この結果を受けて県立恐竜博物館と協議。役割分担として「県事は測量、市は買収」を確認し、今回の境界問題は県が発注した測量業務の中にあった隣接者の境界立ち合いが不完全なため発生したものと市側は主張した。	3	・県に対して粘り強く測量調査を求めていく
14	自然体験学習・ジオパーク学習の推進 1. 自然観察会の実施 ・バンビラインの自然観察会（4月10日）参加者81人 ・谷のブナ林&恐竜発掘現場の観察会（5月8日）参加者25人 ・大師山自然観察会（5月22日）参加者108人 ・初夏の池ヶ原湿原自然観察会（7月3日）雨天中止 ・岩屋川流域の名所を巡る自然観察会（7月9日）参加者35人 ・堀名銀山・塩ヶ城・石灰山を巡る観察会（7月17日）参加者8人 ・勝山の滝を巡る観察会（9月11日）参加者22人 ・牛首街道キノコ観察ウォーク（10月30日）参加者30人 2. ワンダーフォーゲルin勝山の実施 ・8月3日（水）～5日（金）に実施 参加者30人（内勝山市の子供3人） ・今年度もNPO法人恐竜のまち勝山応援隊と共催でキャンプを実施した。 ・関西学院大学の代わりに福井工業大学の学生6人の協力を得た。 3. 探勝登山 ・水芭蕉探勝登山（5月14日）参加者20人 ・ニッコウキスゲ探勝登山（6月18日）参加者13人 ・春山残雪登山（3月12日）参加者 16人 4. カヌー体験 ・親子でカヌー体験&工作教室 参加者26人 5. 恐竜を描こう図画作品コンクール ・1,000点の応募	4	・ワンゲルキャンプについて、関西学院大学の協力が得られないこと、また、キャンプ事業は、市内の小学生は5年生全員が東山キャンプに参加していることから、平成29年度においては、キャンプは実施せず、代わって浄土寺川ダムにおけるカヌー体験教室の回数を増やし、実施することとした。 ・自然体験学習について、子供達の参加が少ないことから、カヌー体験以外にも子どもの参加を促すような内容を検討して行く必要がある。

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
15	競技スポーツと生涯スポーツの推進 1. 勝山恐竜クロカンマラソンの充実 ・平成28年6月12日に実施。当日の参加者1,894人（H27は2,095人）。コースの見直しを行い、滝波川沿いのコースを長くし、ランナーにとって気持ちの良いコース設定とした。給水ポイントも増設し、おもてなしブースを芝生広場に移し、ゴール付近の渋滞を解消した。 ・平成29年2月から第13回大会の募集を開始した。 2. 勝山市体育館ジオアリーナトレーニングルームの活用 ・勝山市体育館ジオアリーナのトレーニングルームの初心者講習会の参加者が3月末現在で946人となった。また延べ利用者数が3月15日現在で9,761人となり、1日平均43.9人の利用となっている。今年度においては、初心者講習だけで手一杯の状況となり、トレーニングルームを活用した健康運動教室は実施できなかった。 3. 国体に向けた選手の強化と指導者の育成 ・国体強化費について、各団体から申請のあった内容を審査し交付を内定した。水泳協会（選手強化）、ソフトボール協会（審判員育成）、バドミントン協会（選手強化、審判員育成）、バレーボール協会（審判員養成）	4	・クロカンマラソンは、平成29年度は、クレ射撃大会の1週間前の開催となっており、早めの準備を行っていく必要がある。 ・3月になってジオアリーナのトレーニングルームの初心者講習会の参加申込数が落ち着いた状況となってきた。利用者登録は3月末で946人となっているが、利用状況は、それほど混雑している状況ではなく、今後も利用促進のため、講習会参加のための効果的なPRを行っていく必要がある。
16	体育施設の整備・充実 1. 勝山市体育館ジオアリーナオープン ・5月28日の落成式には、市民公募の合唱団や勝山高校日本文化部など多くの市民の参加のもと実施することができた。その後のNHKのど自慢や全日本実業団バドミントン大会などを滞りなく実施することができた。 2. 既存体育施設の再配置、再整備 ・B&G海洋センタープールの転用工事も年度内に完了し、体育館の改修工事も実施設計を終了し平成29年度において予算を計上した。 3. B & G 勝山海洋センターの充実 ・平成28年度の財団のセンター評価はAとなる見込み	5	

No.	評価対象項目	評点	課題等
	主な取組内容		
17	平成30年国民体育大会の開催 1. 国民体育大会の開催に向けた市民意識の醸成 ・中間取組状況のとおり。花づくりは、一部の取り組みに留まっている。 2. 国体の成功に向けた各種計画の策定を進める。 ・平成28年度は、4つの専門委員会をそれぞれ2回開催し、開催推進総合年次計画に基づく諸計画を作成した。 3. プレ大会開催の準備について ・平成28年10月17日開催の常任委員会で承認されたプレ大会の実施要項に基づき実施計画を作成し平成29年2月9日開催の競技式典専門部会で承認された。	4	・クレール射撃競技のプレ大会が、6月17日・18日に開催されるが、開催準備期間が短いことから会場設営業務等を早々に行う必要がある。

【参考】

1 教育委員会の構成 平成29年3月26日から平成30年3月25日まで

職 名	氏 名	教育委員任期
教育長	梅田 幸重	平成29年 3月26日から平成32年 3月25日
教育長職務代理者	島田 さよ子	平成26年 6月27日から平成30年 6月26日
委員	若林 正三郎	平成29年 3月26日から平成33年 3月25日
委員	大久保 千恵	平成27年 4月 1日から平成31年 3月31日
委員	今井 克己	平成27年12月24日から平成31年12月23日

2 教育委員会の開催回数、内容

(1) 開催回数 13回（定例12回、臨時1回）

(2) 内 容 次のとおり

- 平成28年4月定例教育委員会 平成28年4月7日（木）
 - 議案第1号 平成28年度勝山市育英資金の貸与者について
 - ・教育委員会の点検・評価の平成27年度評点について
 - ・平成28年度教育委員会各課重要課題と取組方針について
 - ・3月定例市議会の報告について
 - ・互助会会計の決算報告について

○ 平成28年5月定例教育委員会 平成28年5月10日（火）

議案第2号 勝山市社会教育委員の委嘱について

議案第3号 勝山市立公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第4号 勝山市社会教育関係団体の新規認定について

- ・教育委員会の点検・評価の平成27年度評点について
- ・勝山市子どものための教育・保育に係る利用者負担額に関する条例施行規則の一部改正について
- ・勝山市体育館「ジオアリーナ」落成式後の利用状況について
- ・勝山城博物館展示活用懇話会委員の委嘱について
- ・旧木下家住宅修理工事（4月の状況と5月の予定）について

○ 平成28年6月定例教育委員会 平成28年6月2日（木）

議案第5号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の新規登録について

- ・教育委員会の点検・評価の平成27年度評点について
- ・平成28年度教育委員会の点検・評価について
- ・中学校経年状況調査について
- ・6月補正予算について
- ・ニッコウキスゲ探勝登山（赤兎山）の開催について
- ・勝山市体育館ジオアリーナ落成記念かつやま音楽祭について
- ・白山平泉寺世界遺産講演会について

○ 平成28年7月定例教育委員会 平成28年7月7日（木）

議案第6号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の新規登録について

- ・中学校経年状況調査について
- ・6月定例市議会の報告について
- ・平成28年度勝山市・勝山城博物館連携共催展について

- ・旧木下家住宅保存修理工事の進捗と今後の予定について
- ・一流の音楽家による「ふるさと芸術文化授業」・「ふれあいコンサート」について

○ 平成28年8月定例会教育委員会 平成28年8月4日（木）

- ・勝山市教育委員会表彰審査会委員の委嘱について
- ・公民館の職員体制見直しについて
- ・平成29年度事業等に係る県に対する重要要望事項について
- ・学校給食の集約化について
- ・宝くじ文化公演について
- ・リオオリンピックバドミントン競技 パブリックビューイングの実施について

○ 平成28年9月定例会教育委員会 平成28年9月1日（木）

- ・教育委員会の点検・評価報告書（平成27年度）の提出について
- ・勝山市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ・学校訪問について

○ 平成28年10月定例会教育委員会 平成28年10月6日（木）

議案第7号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の新規登録について

議案第8号 勝山市教育委員会表彰被表彰者の決定について

- ・全国学力・学習状況調査の結果公表について
- ・9月定例会市議会の報告について
- ・各地区町民運動会について
- ・第52回勝山市民総合文化祭について
- ・「福井しあわせ元気」国体・大会PRイベントについて

- 平成28年11月定例教育委員会 平成28年11月3日（火）
議案第9号 勝山市立北谷公民館指定管理者候補者の選定について
 - ・平成28年度教育委員会の点検・評価（中間）について
 - ・市史編さん審議会委員の委嘱について
 - ・ふるさと交流会の開催について

- 平成28年12月定例教育委員会 平成28年12月1日（木）
議案第11号 勝山市公民館管理規則の一部改正について
議案第12号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の新規登録について
 - ・12月補正予算について
 - ・平成29年度予算要求の概要について
 - ・平成28年度中学校トイレ改修工事・村岡小学校給食室空調設備設置工事について
 - ・重文旧木下家住宅組立工事の発注について
 - ・三室山史跡公園トイレと駐車場の整備について
 - ・平成29年成人式について

- 平成29年1月定例教育委員会 平成29年1月12日（木）
議案第13号 勝山市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について
議案第14号 勝山市体育施設利用団体の登録に関する要綱の一部改正について
 - ・勝山市立公民館の嘱託職員の雇用に関する内規について
 - ・12月定例市議会の報告について
 - ・勝山市立公民館の嘱託館長及び嘱託主事の公募について
 - ・平成29年度以降の北谷町コミュニティセンター及び北谷公民館の指定管理について

○ 平成29年2月定例教育委員会 平成29年2月2日（木）

- 議案第15号 勝山市立幼稚園のあり方検討懇話会開催要綱の制定について
- 議案第16号 勝山市中学校体育連盟補助金交付要綱の制定について
- 議案第17号 勝山市PTA連合会事業補助金交付要綱の制定について
- 議案第18号 勝山市教育研究会補助金交付要綱の制定について
- 議案第19号 勝山市学校保健会補助金交付要綱の制定について
- 議案第20号 勝山市子ども会育成連絡協議会活動事業補助金交付要綱の制定について
 - ・ 中学校給食費の値上げについて
 - ・ 平成28年度卒業式・卒園式の日時について

○ 平成29年3月定例教育委員会 平成29年2月23日（木）

- 議案第21号 青少年育成勝山市民会議活動事業補助金交付要綱の制定について
- 議案第22号 勝山市壮年連絡協議会活動事業補助金交付要綱の制定について
- 議案第23号 勝山市青年団体連絡会活動事業補助金交付要綱の制定について
- 議案第24号 勝山市芸術劇場・文化講演会事業補助金交付要綱の制定について
- 議案第25号 勝山市市民文化活動普及・啓発促進事業補助金交付要綱の制定について
- 議案第26号 明日の勝山を築く市民運動推進協議会活動事業補助金交付要綱の制定について
- 議案第27号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の登録更新について
- 議案第28号 勝山市社会教育関係団体の認定更新について
- 議案第29号 勝山市立北谷町コミュニティセンター及び勝山市立北谷公民館の指定管理者の候補者の選定について
- 議案第30号 勝山市育英資金奨学金返還減免の基準を定める要綱の制定について
- 議案第31号 勝山市立公民館嘱託館長の任免について
- 議案第32号 勝山市小学校長会事業補助金交付要綱の制定について
- 議案第33号 勝山市小学校教頭会事業補助金交付要綱の制定について
- 議案第34号 勝山市中学校長会事業補助金交付要綱の制定について
- 議案第35号 勝山市中学校教頭会事業補助金交付要綱の制定について
 - ・ 平成29年度教育予算（500万円以上工事含む）について

- ・勝山市子どものための教育・保育に係る利用者負担額に関する条例施行規則の一部改正について
- ・白山平泉寺歴史探遊館まほろばの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ・史跡白山平泉寺旧境内調査整備指導委員会委員の委嘱について

○ 平成29年3月臨時教育委員会 平成29年3月27日（月）

議案第36号 白山平泉寺歴史探遊館まほろばの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

議案第37号 勝山市教育委員会事務局組織規則の一部改正について

議案第38号 教育部長、スポーツ局長、課長、公民館長の任免について

議案第40号 勝山市教育委員会事務局処務規程の一部改正について

- ・教育長職務代理者の指名について

3 その他

(1) 勝山市教育委員会表彰式

実施日 平成28年11月3日（火） 勝山市教育会館

概要 受賞者 37名

(2) 平成29年勝山市成人式

実施日 平成29年1月12日（日） 勝山市民会館

概要 新成人 246名